

駅舎立ち寄り日本鉄道つたい歩き旅

宗谷本線(稚内=和寒:223.1km)8泊9日の旅Ⅲ

1973年卒(数学専攻) 檜原 勉

<5日目> 2015年6月24日(水)晴れ

6月24日も昨日と同様3時前に起床。3時半頃、昨日と同様、セイコーマートに行き、本日の朝食と昼食を購入(648円)。本日の作戦と体調を整えて、ホテル宗谷を5時35分チェックアウト。本日は、南稚内駅(6時8分発)から佐久(7時54分)まで移動し、佐久から問寒別までの22.2kmの踏破。



南稚内駅



佐久駅

運賃は2,160円要する。豊富駅と幌延駅で大勢の高校生が下りる。昨日歩いた南稚内～豊富までの風景が懐かしくなる。豊富から佐久までを窓から観察。明日歩く問寒別から雄信内(おのつぷない)は、山間で難しいそうなコースであった。見送りの可能性のある糠南駅をデジカメに収める。問寒別から乗ってきた女性の乗客に糠南駅踏破の道筋をお伺いする。糠南駅は問寒別方面に戻ればできるとのことで、当初パスを考えていたが、急遽踏破に方針変更する。



天塩川

7時58分、佐久駅前をデジカメに収め、天塩中川駅に向かう。駅舎には「ふるさと伝承館」と記した

看板があった。駅前には、今休業中の藤田旅館があった。この旅館に泊まる予定で当初プランを考えましたが、今休業中との電話での回答で、今回のようなプランに変更する。8時7分、十字路口で問寒別24km、中川7kmの道路標識を目にする。

本日は、天塩川に沿って歩くコース。9時23分、サコダー川を渡る。8時27分、第1問寒別佐久停車場踏切を横切り、鉄道の右側となる。本日は荷物を背負っての歩きのため、ウォーキングだけの対応。8時33分、上り列車の音を聞き安堵する。8時47分、水色の47歩ある古市橋(古市川)を渡る。9時5分、第2寒別踏切佐久停車場踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。トラックの往来が激しくなる。9時12分、道路工事の事務所前(臨時)を通過。9時17分、80歩ある琴平橋を通過。それにしても、佐久駅から天塩中川駅の区間、道路工事の作業員やトラックが多いのにはビックリ。9時38分、541号線と記した標識に16km地点を通過。

9時35分、通り抜けられると思い、青空団地に入る。しかし、袋小路となる。幹線道路541号線に戻る。10時2分、118歩ある銅蘭橋(銅蘭川)を渡る。10時6分、北星しんきんがあった。10時12分、天塩中川駅に到着。



天塩中川駅

この駅の界限には、セイコーマート、タイムリー、

生協、そして旅館もあり賑やかであった。歩道にはフクロウやニトリの絵が描かれていた。10時30分、中川町立中央小学校前を通過。十人位の小学生が、鉄棒で逆上がり等の練習をしていた。この小学校の標語を感動したためメモする。「深く考え／たくましく前進する子」と。

10時55分、109歩ある国一橋(ペンケナイ川)を渡る。11時5分、郵便自動車が私を追い越して行く。11時18分、111歩あるパンケ橋(パンケナイ川)を渡る。11時27分、541号線の10km地点に到達する。11時32分、下りの特急が通過して行く。11時48分、138歩あるくんねり橋(クネネシリ川)を通過。11時53分、上着を脱ぐ。12時15分、541号線7km地点を通過。12時36分、列車を改造した駅舎の歌内駅があった。ここから、問寒別駅まで5.5km、何とか14時42分の電車に間に合せようと時間との闘いが始まる、当初の予定では17時17分を考えていたのを。

12時45分、右手に白い鳥居があり。12時54分、T路地に達し右側を。ここから山間となる。熊除けに笛を吹きながら進む。歩きの場合、鈴では弱いかからだ。13時4分、57歩あるオレンジ色の宇戸内橋(宇戸内川)を渡る。13時17分、中川町から幌延町へ。丁度541号線の3km地点であった。13時48分、1km地点に到達。その先でやっと民家が見えて来る。

14時2分、木々の中で音がした。熊かと思ったら鹿であった。慌てて一目散で逃げて行く。鹿でよかった。もし、熊であれば・・・。「虎穴に入らずんば虎子を得ず」の諺を自問自答したくなるような、怖い怖い瞬間であった。間もなく歩くとT路地にぶつかり、左折し1km位歩いた先に問寒別駅があった。



中川町から幌延町へ

問寒別駅界隈の様子は、途中、トラクターに乗った人が私を追い越して行く。14時11分、47歩ある愛冠上橋(大塚の沢川)を越える。その先に問寒別駅(14時17分)があった。



問寒別駅

駅舎は歌内駅と同様、列車を改造して造ったものであった。この駅で遅い昼食を摂ると同時に、駅に備え付けのノートに、今回の歩きに関する記事を記載する。加えて、カッシー館のPRも。そして、14時42分の列車で豊富駅へ、運賃は930円要する。松屋旅館には16時16分到着。2階の粗末な部屋(松の間)であったが、アットホームのする旅館。料金は2泊で9,860円(晩飯付)。一番の到着であったので、一番風呂に入らせて頂く。18時頃、食堂で夕食をいただく。家庭の味のする手料理であった。部屋に帰り、晩酌。本日の営業キロは、22.2km、万歩計は46,917歩であった。今日も予定通りクリアでき、充実した一日であった。

<6日目> 6月25日(木)曇り/雨

3時頃起床。昨夜セイコーマートであった買ったパン等で朝食を摂り、作戦を練る。本日のポイントは、糠南駅の踏破から雄信内駅までの行程、そして幌延駅から下沼駅の山間の踏破。体調を整え、ジョギングウェアで旅館を6時半頃出る。始発列車の6時49分まで時間があったので、駅舎等を種々のアングルから記念写真。



糠南駅



この駅は、現在は無人駅であった。問寒別駅まで運賃(整理券)は 930 円要す。雄信内から糠南に向け、天塩川沿いを道なき道を走る。途中トンネルもあった。正に天然の要塞であった。7時32分、問寒別駅に到着。

7時41分、問寒別郵便局前を通過。7時43分、幌延町立問寒別小学校前・中学校前を通過。7時45分、北大天塩研究林前を通過。



北大天塩研究林



赤橋

橋の辺りで、この界隈の年配の女性と対面。糠南駅を尋ねても正確な回答を得られなかった。

「山越えがあるから」が印象に残った。7時49分、185歩ある赤い問寒別橋(問寒別川)を渡る。7時52分、畑総農道を歩く。8時2分、新糠南橋(ヌカナン川)を渡る。その先に十字路となり、左折した先に糠南駅(8時10分)があった。糠南駅付近で工事をしていた。駅は中間寒別糠南線踏切を渡った先にあった。この駅は踏破できないと当初考えていたので、鬼の首でも取ったような心境で駅周辺を種々のアングルからデジカメに収める。8時14分の上りの特急電車通過を記念写真に収めてこの駅を後にする。工事担当者によると、糠南の山間は熊の出没があるとのことであった。

この駅を出る際、熊除け鈴をロストしているのに気付く。それ故、鈴を探すため、再度問寒別駅まで引き返すことにする。しかし、残念ながら見当たらず。Ipodと同様、どこで紛失したかは全く不明。再び問寒別駅には8時36分到着。雄信内に向かう交差点には8時40分着。8時43分、問寒別停車場踏切を横切る。鉄道の手となるが、暫くは鉄道に垂直に走る。途中小雨が気になり、ショルダーバックにビニールをかける。

中間寒別糠南線踏切で特急電車を見守る 再度問寒別駅へ 8時46分、平成橋を渡る。途中、車に

轢かれてまもない狐か狸かの姿を見かける。9時7分、408歩ある新問寒別大橋(天塩川)を渡る。9時15分、139歩ある新国根府橋(赤橋)を渡る。9時22分、国道40号線に出る。交差点のところに、北大天塩研究所の看板(4km先)があった。9時32分、辰子丑を通過。9時53分、78歩ある弁慶橋(天塩川支流)を通過。この弁慶橋は昨年歩いた砂川界隈でもあったような気がする。10時10分、750mある雄信内トンネル(1,243歩)を通過。



雄信内トンネル



雄信内大橋

10時18分、国道40号線に別れを告げ、豊富遠別線を。道路標識で豊富34km、幌延17kmとあった。10時24分、902歩ある空色の雄信内大橋(天塩川)を渡る。山間から鶯谷の鳴き声。橋を渡り、幹線道路を500m行った先に雄信内駅があった。駅前には民家はなし。寂しい感じの駅前であった。この先は、山間と天塩川で行き止まりであった。

10時43分、再度先程の交差点に戻る。10時46分、第2豊富遠別線踏切を横切り、鉄道の右側を。10時55分、雨が本降りとなり傘をさす。11時13分、開進2号線踏切を横切り、鉄道の左側となる。11時41分、沼があった。11時50分、豊富27km、幌延10kmの道路標識前を。傘と路面が滑りやすくなっている関係で、ジョギングは時々であった。11時57分、目測を誤って井上農場踏切前まで来るが、駅舎の姿はなかったので聞き返す。

やっとのことで、12時12分、古びた列車を再利用した安牛駅舎(問寒別駅舎と同じ構造;現在廃駅)に到着。12時36分、目黒橋を渡る。雨で集中力をかく。12時46分、駅舎のない南幌延駅に到着。13時、雨の中、3頭の乳牛を見かける。遠くにロール、近くには沼があった。13時20分、安牛駅と同じタイプの駅舎である上幌延駅に到着。この駅舎で、休憩と雨宿りをかね、遅い昼食とする。この駅舎で10分

位休息し、4.9km先の幌延駅を目指す。

メモ帳と地図は雨でぼろぼろ。それ故、メモ記載にも相当の負荷を要す。13 時 30 分、法華橋を渡る。13 時 38 分、45 歩ある上幌延橋(バンケオポッペ川)を渡る。14 時 6 分、北緯 45 度地点を通過。この界隈には赤道と北極の真ん中を示す“北緯 45 度”の PR が多々あった。14 時 32 分、50 歩ある幌延橋を渡る。14 時 39 分、第 2 幌延こもい線踏切を横切り、鉄道の右側となる。14 時 45 分、雨の中、幌延駅に到着。



雨の中の牛



幌延駅



幌延の街並み

雨で集中力を相当欠いていたが、駅前には、中川駅よりは賑やかな感じであった。この駅には駅長がいた。この駅でメモ帳と地図を雨よけにビニール袋の中に格納する。ここから、悪天候の中、7.8km先の下沼駅、更には 16.5 km先の豊富までの踏破に挑戦する。雨の中なので、傘をさす関係で思うようなジョギングができない。それ故、これからの道のりは速足での対応が軸となろう。

15 時 23 分、左手に牧場にいる沢山の牛を見つける。山間を笛を吹きながら進む。怖さをふっ飛ばすためである。16 時 13 分、下沼道踏切を越え、鉄道の左側となる。もうすぐ行くと国道 40 号線にぶつかる。ここで本来なら直進すべきところを、誤って国道に出たため、下沼駅が未踏破となる。敗因は雨で地図を点検できなかったことが大きい。16 時 22 分、誤って国道 40 号線に合流する。16 時 30 分、下沼跨線橋を渡り鉄道の右側となる。16 時 40 分、稚内 49 km、豊富

10km地点に到達。

16 時 53 分、赤い鳥居の温内神社があった。恐らくこの辺りに下沼駅があったのだろう。しかし、国道からは下沼駅への道筋はなかった。次の交差点を曲がってみたが、駅舎らしき姿はなかった。国道に戻り、道路工事の警備員の方に問い合わせる。「私はこの地は不案内でわかりませんが、道路下沼駅 1 kmの看板があります」と。看板は何かの不可抗力で反対に向いていた。その助言を聞いて、10 分位ジョギングして引き返す。途中、下沼駅のような駅看板が微かに見えたが、駅に下りる道はなし。それ故、諦めて再度戻る。15 分位ロスする。17 時 29 分、浅見橋を渡る。18 時、豊富町に入る。豊富市街まで 4 kmとの道路標識がある。18 時 47 分、67 歩ある豊富橋を通過。やっとのことで、豊富駅には 19 時 6 分到着。



豊富駅

旅館には 19 時 10 分到着。食事を済ませ、風呂に入り、セイコーマート(896 円)で明日の朝食と昼食買い就寝。本日の営業キロは 40.1 km、万歩計は 84,015 歩であった。雨の中ではあったが、当初の予定をクリアでき充実した一日を送ることができた。天や神に感謝あるのみ。



松屋旅館

